

若事研広報

No.208

編集・発行

岩手県公立小中学校

事務職員研究協議会

総務部

令和2年7月31日

ごあいさつ

岩手県公立小中学校事務職員研究協議会

会 長 菅 原 信



令和2年度総会において、引き続き会長に選出していただきました。微力ではありますが、会員のみなさまのご協力をいただきながら精一杯励みたいと思います。

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、3月の臨時休校の措置以来、経験したことのない年度を迎えています。学校現場としても様々な対応に追われ、通常以外の業務に追われる多忙な日々です。予想できない長期間の社会活動の制限などで、事務研活動もままならない現状です。

しかし、これからは「アフターコロナ」「ウィズコロナ」の時代。このような時だからこそ、なお一層、みなさまと協力しながら連携した活動をしなければならないと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

昨年度は、新研究大会計画最初の研究大会でした。役員が大幅に変わりましたが、みなさまのご協力により成功したことは大きな成果です。全体研修会・研究大会のサイクルを経験し、改善事項を各運営マニュアルに反映することができました。

本年度の主な事業について、一つは研修部が主体として行う「第2回全体研修会」です。9月を1月開催に延期して計画します。もう一つは研究部が中心に行う、第23回東北地区公立小中学校事務研究大会秋田大会（集録開催（紙面開催））発表です。県大会分科会発表後の東北大会分科会への取り組みが各支部のご理解により進んでいます。

その他に来年の第50回県研究大会記念大会の企画や、令和6年に実施予定の第25回東北事務研究大会岩手大会への準備が始まります。

しかし、新型コロナウイルス感染症に対する措置等に伴う児童生徒や教職員の安全確保が最優先です。「新しい生活様式」を意識し柔軟な活動にすべく、工夫を凝らし事業に進めてまいります。

学校事務職員のプロとして…

小・中事務職員の多くは単数配置です。一人一人が学校事務職員としての専門性を磨きつつ、職務に励まれていることに改めて敬意を表します。

一方で昨今、教育にたずさわる者として「コンプライアンス（法令順守）」と「アカウントビリティ（説明責任）」を意識し、事務職員自身が「つかさどる」にふさわしい倫理観をもって、職務を遂行する姿を見せていくことが求められています。県事務研事業においても、標準的な職に明記された標準職務遂行能力を習得するため、各職位に応じた研修の機会を提供していきます。

最後に、仕事をしていくためにも健康が一番大切だと思います。くれぐれも体調管理にご留意ください。今後ともみなさまの変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

令和 2 年 度 総 会

令和2年度の総会が書面表決により行われ、37名中33名の代議員の皆様より表決書を提出いただき、令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画等が承認されました。

また、代議員の皆様から予算執行や理事の選出についてご意見をいただきました。今後の運営の参考にして参ります。

第 1 回支部代表者会 期日：令和 2 年 6 月 19 日(金) 会場：盛岡市 都南公民館

先日行われた支部代表者会では、各部より、第2回全体研修会の開催期日を1月8日(金)に延期すること、第23回東北地区公立小中学校事務研究大会秋田大会分科会発表が「大会ホームページ」掲載で実施とされること等、各部事業の詳細について説明されました。

各支部から次のとおり質問がありました。

- ◎下閉伊支部「病休者も会費納入が必要か」→「納入対象と捉えていない」
- ◎紫波支部「全体研修会が直前に中止することはあるか」→「現時点ではできると判断して進めているが、状況によって中止という判断もありえる。もし開催できなかったとしても、それまでの取り組みが来年につながる」
- ◎盛岡支部「全体研修会の階層別研修が、事務長、主事～主任主査、臨時職員と区分されているが、主事も主任主査も同じ階層としての研修になるのか」→「新型コロナウイルス感染症拡大防止により現時点ではグループワークを企画できない状況だが、階層を分ける、部屋を分けるなど可能な限り検討する」

また、情報交流では、今回は支部研究テーマ、研究・研修の進め方、教育委員会等との関わりや共同実施組織連携など、事前に資料を準備いただいたうえで、概要をお話しいただきました。

各支部の研究テーマ等主な取組は次の通りです。

- (盛岡) 学校事務職員の職務確立をめざして
 - 日々の実践と連携をとおして学校事務のあり方を探る -
- (岩手) 学校の役に立つ事務職員になるための研究に取り組む
- (紫波) 「事務をつかさどる」を具現化する事務実践、事務改善を目指して
 - ～町単位の課題解決から学校経営参画と人材育成(OJT)について考える～
- (花巻) 地域とともに歩む学校事務をめざし、学校事務を継承・発展させよう



(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためソーシャルディスタンスをこころがけ、広めの会場、1人1テーブルとして盛岡市都南公民館小ホールで行いました。)

事前に、自宅での検温、マスク着用、手指消毒をお願いし、会議に臨んでいただいています)

- (和賀) (1) 個人ごとの研究テーマを設定し、個人またはグループで研究を進める
 (2) 採用1年目と2年目は人材育成グループとし、研修の場を設ける
 (3) 東北大会の発表グループはこの他に設ける(大会集録作成)
- (遠野) 事務改善(遠野市内小中学校で統一した会計ソフトの活用とその定着を進め、学校集金システムの構築を図る)
- (胆江) 子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の実現をめざして
 ～子どもの笑顔があふれる学校づくり～
- (一関) 年3回の研究会を予定、個人研究では学校課題解決シートを作成、発表に取り組みます
- (気仙) 気仙の私たちが考える学校事務職員の将来像とは
- (釜石) 学校事務…従事するからつかさどるへ
 ～まずは財務からつかさどろう～「短・全・見」で変わる学校事務～
- (下閉伊) 創造しよう! 学校経営における学校事務を
 ～学校経営における事務職員の参画の在り方と実践～
- (九戸) 新型コロナウイルスに関わる各校の対応について
- (二戸) 学校事務経営計画の策定と活用
- 最後に、全国事務研第10次中期計画下の主幹地区の件、東北事務研実行委員会準備会設置及び東北大会発表担当支部の件、今後の県事務研役員選考にかかる件など意見交流をし、閉会しました。



岩手県公立小中学校事務職員研究協議会 各部理事紹介

(1) 総務部理事

- ・ 総務担当 小田島 麻 由 (手代森小学校)
 千葉 夕 里 (北松園小学校)
 下屋敷 智 美 (乙部中学校)
- ・ 広報担当 石 川 力 行 (矢沢中学校)
 松 浦 潤 (晴山小学校)
 大 下 奈 摘 (小鳥谷小学校)
- ・ 資料センター 吉 田 秋 子 (仁王小学校)

(2) 研修部理事

- 盛 岡 齋 藤 久美子 (北松園中学校)
- 岩 手 畠 山 諒 也 (滝沢中学校)
- 紫 波 角 舘 正 志 (矢巾北中学校)
- 花 卷 清水 辺 桂 子 (南城小学校)
- 和 賀 八重 檜 綾 子 (北上・南中学校)
- 遠 野 渡 部 ゆきの (宮守小学校)
- 胆 江 高 橋 美 晶 (胆沢第一小学校)
- 一 関 伊 藤 しのぶ (大東小学校)
- 気 仙 村 上 啓 子 (高田東中学校)
- 釜 石 三 浦 道 徳 (吉里吉里小学校)
- 下閉伊 山 口 勇 樹 (岩泉中学校)
- 九 戸 大 下 尚 人 (大野小学校)
- 二 戸 五十嵐 結 紀 (福岡中学校)



(3) 研究部理事

高橋 義 信 (矢巾東小学校)
下村 隆 (軽米中学校)
村上 誠 一 (高田第一中学校)

(4) 東北事務研究大会研究推進委員

下村 隆 (軽米中学校)
高橋 ユ ミ (沢内中学校)
佐々木 勝 (遠野・土淵小学校)
藤原 有 希 (上郷小学校)
渡部 ゆきの (宮守小学校)
本波 龍 海 (遠野北小学校)



令和2年度 県役員

役職	担当	氏名	支部	勤務校
会長		菅原 信	花巻	花巻市立石鳥谷小学校
副会長	研修総括	米澤 弥志夫	岩手	雫石町立雫石中学校
副会長	総務総括	林 佳奈子	花巻	花巻市立湯口小学校
副会長	研究総括	清水辺 誠	花巻	花巻市立花巻北中学校
常任理事	総務部長	長坂 征子	岩手	雫石町立御明神小学校
常任理事	総務部財務担当	藤森 備子	盛岡	盛岡市立渋民小学校
常任理事	総務部広報担当	古舘 光樹	二戸	二戸市立浄法寺小学校
常任理事	研修部長	佐藤 謙一	盛岡	盛岡市立大新小学校
常任理事	研修部大会運営担当	高木 純子	盛岡	盛岡市立永井小学校
常任理事	研修部大会財務担当	中平 貴士	気仙	大船渡市立大船渡北小学校
常任理事	研究部長	千葉 千枝	和賀	北上市立黒沢尻西小学校
常任理事	研究部調査担当	佐藤 美加	胆江	金ヶ崎町立第一小学校
監事		菊池 和子	遠野	遠野市立遠野小学校
監事		千葉 陽介	一関	一関市立桜町中学校
監事		阿部 祐司	釜石	大槌町立大槌学園

※全国公立小中学校事務職員研究会副会長 阿部 貴子 (盛岡市立見前南中学校)

※顧問 米澤 倫子 (県公立小中学校事務研 前会長: 盛岡市立高松小学校)

☆編集後記☆

今年度総務部広報担当になりました古舘光樹と申します。

総会でご承認いただいた年3回の広報発行も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により様々な活動が中止や延期で自粛され、各種会議や大会等の紹介が難しくなっております。しかし、これを機会に、皆様に喜んでいただけるような新たな企画を考えてまいります。

次号 209号では、各支部の皆様にご協力いただきながら、支部活動紹介等の特集して発行したいと考えております。お楽しみに。

次号以降も、どうぞよろしくお願いいたします。最後までお読みいただきありがとうございました。

